

# ホクレン営農支援情報

(2022年12月号)

## ● 「かぼちゃ茎葉処理機 産地試験」動画を限定公開中 《スマート農業推進課》

かぼちゃの収穫作業を効率化する、茎葉処理機の開発に向け現地試験を行った動画をYouTube内の「ホクレンアグリポートチャンネル」で限定公開しています。ホクレンでは、道内で作付面積が減少傾向にある「かぼちゃ」について、重労働となっている収穫作業を少しでもラクにするため、労力と時間がかかる原因の一つである「果実を蔓や茎葉の中から見つける作業」の効率化を目指し、訓子府機械工業株式会社、ヤンマーアグリジャパン株式会社による「かぼちゃ茎葉処理機」の開発を、北海道立総合研究機構とともに支援しています。2020年から訓子府実証農場にかぼちゃ圃場をつくり、圃場での試験を開始。今年度は訓子府実証農場の圃場に加え、主要なかぼちゃ産地であるJAにご協力をいただき現地試験を実施し、その様子を動画でまとめています。ぜひご覧ください。



「かぼちゃ茎葉処理機 産地試験」動画（限定公開）  
視聴用 URL <https://youtu.be/C6d90D8yKaA>



## ● 担い手向け「トマト・ミニトマト」Web 研修会を開催 《営農支援推進課》

営農支援推進課では、就農年数の短い担い手等の人材育成を目的に11月9日に「トマト・ミニトマト」のオンライン Web 研修会を実施し、生産者、JA、関係機関含め51名が参加しました。

研修会は、「トマト・ミニトマト栽培の基礎」、「生産現場における技術改善の取り組み事例」、「ういず One を利用したミニトマト・大玉トマト栽培法」、「トマト・ミニトマトの病害虫防除」のカリキュラムで実施。今回は、オンラインでの実施により参加者からの「どのくらいの期間を置いて生育調査したら良いですか」などの質問に、その場で講師が回答。双方向でコミュニケーションを図りながら実施しました。

参加者からは、「ミニトマトの仕立て方法について、二本仕立てとの栽培方法の違いや育苗時の注意点が再確認できた」、「実践してみたい技術を知ることができて良かった」、「それぞれの病害虫が写真付きで分かりやすかった」などの声が挙げられました。

**トマト・ミニトマトの害虫①**

害虫名	特徴	発生生態	防除対策
オンシツコナジラミ	ハウスや露地の野菜類、温室の花きなど恒常的に発生。成虫・幼虫は、口針を作物に刺し吸汁し、 <b>多量の甘露を排泄</b> するため、葉や果実に「すす病」を併発する。「すす病」の発生が激しいと生育阻害と商品価値が低下する。成虫は常に上部の若い葉を好み、葉裏に群がり吸汁する。長期間産卵するので、温室等では常に成虫・幼虫が混在する。	休眠しないので道内で野外の越冬はできない。加温や無加温ハウス等の花き・雑草などで発生を繰り返し越冬する。卵～成虫になるまで <b>24日程度</b> 、成虫は <b>30-40日</b> 生存する。露地では秋まで3世代、ハウスでは5世代を繰り返す。	ハウス内の除草は薬剤防除効果を高める。特に秋の除草は越冬源の抑制に有効である。作物の上葉を軽く叩くと白い成虫が飛ぶので発生の有無がわかる。薬剤散布は成虫の活動が鈍る朝夕が望ましい。虫態で薬剤感受性が異なるので、混在しないよう早期散布する。



成虫(1.5mm程度) 卵(0.2~0.5mm) 幼虫(0.3~0.5mm)  
野菜害虫の生態や防除について (花野菜技術センター編本)



トマト・ミニトマト Web 研修会の様子

## ● アグリポート Web サイトを開設 《営農支援推進課》

営農情報誌「アグリポート」の専用 Web サイトを12月1日に開設しました。2016年6月の創刊以来、誌面で情報を発信してきましたが、今後は誌面に加え Web サイトでもアグリポートを閲覧できます。スマートフォンやタブレットなどを使い、ちょっとしたすき間

時間でも閲覧でき、Web サイト内にはキーワードで知りたい情報を検索できる機能もあります。また、過去のバックナンバーを保管していますので、読み返したい記事もご覧いただけます。ぜひアグリポート Web をご活用ください。



※画面はイメージです。

アグリポート Web サイトの URL

<https://agriport.jp>



## ●アグリポート VOL.40 を発刊《営農支援推進課》

12月1日にアグリポート VOL.40 を発刊しました。今回の特集は、「シン道産品に注目」です。さつまいもや加工用野菜など、今後の成長が見込まれる新規作物。新たな道産品として産地づくりを目指す事例や、小売業が注目する新品目などを紹介しています。

また、「牧草など高能力品種開発と高品質種子供給への取り組み」と題し、期待の牧草新品種と品種開発から種子の供給、普及に至るまでの取り組みを掲載。

そのほか、「道産品のカタチ」では、道産もち米にこだわり「北海道産切り餅おひとつパック」や「北海道産米 100%使用 餅屋が作った甘納豆の



赤飯」を製造しているたいまつ食品株式会社を取り上げています。ぜひご覧ください。



発行： Hokuren 農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp